

ため池のある風景写真コンテストの終了について

令和3年4月23日

全国ため池等整備事業推進協議会

平成11年(1999年)に始まった「ため池のある風景写真コンテスト」は、令和2年度のコンテストをもって終了することになりました。これまでご応募いただいたすべての応募者の皆さんに感謝申し上げます。

コンテスト終了にあたり、審査委員長の英伸三先生からメッセージをいただきました。

22年間審査を担当させて頂いて、ため池を通して日本の農業のあり方と日本の自然の変化に繋がる所をずいぶん教えて貰い、大変勉強になりましたし、とても楽しかったです。

写真の審査というのは、今まで見たことも無い写真を初めて見るわけで、いつもわくわく感がありました。そして、どの写真が良いか、どれを残そうかということにいつも苦勞しました。写真の審査というのは落として行くのが作業で、残念ながら落とさざるを得なかった写真にも良いものがたくさんあります。選ばれなかったからだめだと思わずに、その写真をもう一度よく見てその写真から次の撮影について学び、そして他人の写真と比べながら狙いの違い、ため池に対する考え方の違いなどを考えながら見直してゆくと、まだまだ撮りたい、撮っておきたいと思うような場面が出てくるのではないかと思います。

私は桜の名所がため池の周辺にこんなにあるというのは知りませんでした。また、野鳥がため池にこんなに渡ってくるというのは驚くべき事だと思います。ため池は自然そのものではないにせよ、人が関わることによってこういう風景が生まれているということが素晴らしいことです。写真を見て、この風景の場所に行ってみたいなど何回も思いました。

最後に、これまでため池の多彩な表情を感性豊かに捉えて下さった全ての応募者の皆さんに感謝申し上げますとともに、どうかこれからも皆さんには引き続きため池のある風景の撮影に励んで頂きたいと思ひます。

英 伸三(はなぶさ・しんぞう)

ため池のある風景写真コンテスト審査委員長

現代写真研究所所長